

11月20日は #世界子どもの日 小学生から学べるオンラインプログラム「わたしとみんな」を公開

報道関係者各位

ガールスカウト日本連盟（東京都渋谷区 代表：和田照子）は、子どもたちが健やかに安全に育ち、子どもの意思が尊重される社会になることを願い、小学生からジェンダー平等について学ぶことができるオンラインプログラム「わたしとみんな」を公開しました。

子どもの権利が守られ、可能性を伸ばす社会の実現を願って

1989年11月20日に国連総会で「子どもの権利条約」が採択されました。子どもは、自らの生命と身体の安全を守る権利があります。また国籍、人種、性、意見、障がい、経済状況などのどんな理由によっても差別されることは許されません。自らの意見を自由に表現することができ、周りの大人はそれを十分に尊重しなければなりません。

ガールスカウトのオンラインプログラム「わたしとみんな」は、小学校1年生から大人までの誰もが「ジェンダー（社会的な性差）にとらわれず、可能性を伸ばすことができる」ことを学ぶことができます。

日本社会で日常生活を送るうえでは一見、男女平等のように感じている人は多いことでしょう。しかし幼いころから、家庭や保育・教育の場などで、周囲の大人からの影響、あるいはメディア等からの影響を受け、「男の子だから〇〇」「女の子だから〇〇」といった固定的性別役割分担意識をはぐくんでしまっている状況が多くあります。このような意識は、幼少期から長年にわたって形成され、男性にも女性にもあるものです。子ども自身の意思を、大人の無意識の固定観念により押さえこんでしまうことは避けなければなりません。幼いころから性別役割分担意識を押し付けられないような環境整備が大切です。

オンラインプログラムだからできること

- ・ コロナ禍の影響下でも、オンラインだから場所を選ばずに学ぶことができます。
- ・ 動画を見たり、ワークシートに記入したりしながら、子どもと大人と一緒に考え、学ぶ機会を作ることができます。

オンラインプログラム
「わたしとみんな」を見る

制作：公益社団法人ガールスカウト日本連盟
協力：NPO法人ビルコン、公益財団法人プラン・インターナショナル・ジャパン
参考：内閣府男女共同参画局、文部科学省



中学生・高校生年代向けの**オンラインプログラム「me and them」**も公開しています。合わせてご覧ください。